

平成30年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立あけぼの学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	○「強く明るく真心で」を校訓とし、あけぼの学園高校の生徒として一人ひとりが“自信と誇り”を持ち、地域に貢献し地域から信頼される学校
育みたい生徒像	○学びに向かう力を育み、成果をあげる体験を重ねることで自己肯定感・自己有用感を高め、新しい時代を生き抜く力を持っている。 ○制服をきちんと着こなし、ピアス等の装飾品は身につけず、頭髪も含め高校生としてふさわしい身だしなみを整えている。 ○他の生徒の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ共通の課題に対し協力して取り組んでいる。 ○地域の一員として積極的に活動することで、地域から信頼を得ている。
(2) ありたい教職員像	○目指す学校像の実現に向け、「チームあけぼの」の一員として自校の存在価値を高めている。 ○授業を大切に学力向上を図るとともに、生徒の小さな成長の積み重ねに力を注ぎ、その成長を目にすることを自らの喜びとし、自らも成長しようとしている。 ○生徒及び教職員相互の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ学校の抱える課題に協働して取り組んでいる。 ○様々な形で積極的に地域と連携・貢献し、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> ○わかる授業、部活動の充実、安全・安心で楽しく充実した高校生活</p> <p><保護者> ○安心して楽しく過ごすことができる学校生活、学力向上、進路実現</p> <p><中学校> ○中学校に対する理解、多様な生徒の受け入れ、生徒個々への丁寧な指導と進路実現</p> <p><地域社会> ○学校・地域の連携強化、地域振興・活性化、学校の情報提供、地域の担い手育成 ○基礎学力、体力、コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけた人材の育成</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p style="text-align: center;">連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者> 安全・安心な学校 基礎学力の定着、進路実現</p> <p><中学校> 丁寧で親身な指導 多様な生徒の受け入れ 生徒一人ひとりの進路実現 学校の情報提供</p> <p><地域社会> 地域の担い手育成 社会的マナーを身につけた人材育成 地域行事などへの参加と地域貢献 学校の情報提供、開かれた学校づくり コミュニケーション能力の向上</p>	<p style="text-align: center;">連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者> 学校の指導方針への理解・協力・連携 学校行事への参加と助言</p> <p><中学校> 教育活動の相互理解 生徒同士の交流と教職員間の連携 学習習慣の涵養 基礎学力の定着 目的意識の向上</p> <p><地域社会> 地域子どもたちが本校への入学を希望 学校行事への参加と助言 教育活動への理解と協力 本校への求人確保とその増加 インターンシップの受け入れと協力</p>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○伊賀高校からの校訓である「強く明るく真心で」の精神を高校3年間で身につけるようにしてもらいたい。</p> <p>○中学校や地域等への広報活動を積極的に行うとともに、生徒たちの学んだことを生かした地域交流を重ね、生徒たちの自己肯定感や地域からの学校評価の向上に取り組んでももらいたい。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○伊賀地区の中学校卒業者が減少している中で、選択科目の充実や生徒個々への丁寧な指導などにより、募集定員を満たしている。今後とも小・中学校や地域との連携をより進めることで、魅力ある学校づくりに取り組むことが必要である。</p> <p>○基礎学力が十分に定着していない生徒や様々な課題をかかえる生徒もいる。そこで、学習指導や評価の方法を工夫するとともに、特別な支援や配慮をし、生徒に社会で生き抜く力を身につけさせることが必要である。</p> <p>○生徒指導上の違反を繰り返す生徒も一部いるが、根気強い指導を継続している。その際、普段から全職員の意識と指導を統一していくことが必要である。</p>
	学校運営等	<p>○小・中学校、地域の方々との連携を通して、生徒の達成感や自己肯定感の向上が感じられる。今後も生徒の成長を柱に地域連携・地域貢献の取組を推進し、学校活性化につなげるとともに、地域の活性化にも寄与していくことが必要である。</p> <p>○教職員が健康で意欲を持って日々生徒の指導に取り組めるよう、ワークライフバランスに留意し過重労働の防止やさらなるチームワーク向上を図っていくことなどが、小規模校である本校には必要である。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○生徒に基本的な生活習慣の確立や部活動・資格取得等への積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力・体力を向上させ、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。</p>
学校運営等	<p>○情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。</p> <p>○学校行事・会議・部活動等の精選や見直しも含め総勤務時間の縮減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。具体的には、定時退校日の月あたり一日の設定、会議スマートルールに沿った会議時間の縮減に努める。</p> <p>○部活動の休養日を週あたり一日設定するとともに、練習時間を平日三時間以内・休日四時間以内とする。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
基礎学力・コミュニケーション能力・体力の向上	<p>(1) 生徒の実態に即した学習指導を工夫し、基礎学力を定着させる。</p> <p>【活動指標】 授業公開及びテスト前補習を各2回以上実施する。</p> <p>【成果指標】 レッドカードの件数が昨年度より減少する。</p>	(年度末および適宜記載)	

生徒指導の充実	(1) 「そとみ」の指導に取り組む。 【活動指標】 頭髪服装指導を行い、規律に則った学校生活を励行させる。 【成果指標】 違反総数が昨年度より下回る。		
部活動・資格取得の推奨	(1) 生徒自身が学ぶ姿勢を身につけ、積極的に資格取得に挑戦するよう働きかける。 (2) 部活動に参加するように積極的に働きかける。 【活動指標】 SHR、LHR、進路行事等を通して、資格取得や部活動について、案内やガイダンスを行う。 【成果指標】 資格試験、検定等の受験者や部活動に参加している生徒数が昨年度を上回る。		
キャリア教育の充実	(1) すべての生徒が進路を決定して卒業することを目指す。 【活動指標】 生徒の希望を把握して、就職または進学に向けて指導する。 【成果指標】 すべての生徒が進路を決定して卒業する。		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報発信・学校活性化・地域貢献	(1) 人権だより「ことだま」を発行し、人権に関する話題や情報を提供するとともに、学校での生徒の様子や学習内容等を伝え、家庭での話し合いのきっかけを作る。 【活動指標】 生徒及び保護者を対象として人権だより「ことだま」を発行する。 【成果指標】 生徒アンケートにおける「人権に対する理解を深め、人権尊重の行動へつなげる」数値の向上。 (2) 地域や中学校への情報発信を効果的に行い、交流を進める中で教育活動の活性化を図る。 【活動指標】	(年度末および適宜記載)	

	<p>地域や中学校からの学校理解が進み、学校の活性化や地域貢献につながるよう、情報提供を効果的に行う。</p> <p>【成果指標】 地域アンケート（学校評価）で本校の教育活動の理解度が昨年度を上回る。</p>		
チームワークの向上・意欲の増進	<p>(1) 教職員のワークライフバランス改善の取組を推進する。</p> <p>【活動指標】 定時退校日を原則として月1回以上設ける。年休取得を奨励する。部活動の休養日を週1回以上設ける。</p> <p>【成果指標】 定時退校日の達成率90%以上。全教職員の年休取得日数10日以上。全部活動の週1回以上の休養日の設定。</p> <p>(2) 勤務時間の縮減に加えて、若い教職員が意見を言い、活躍できる機会を提供する。</p> <p>【活動指標】 学校マネジメント委員会から学校改善活動の提案を行う。</p> <p>【成果指標】 教職員の満足度調査（学校経営数値）が昨年度を上回る。</p>		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)